

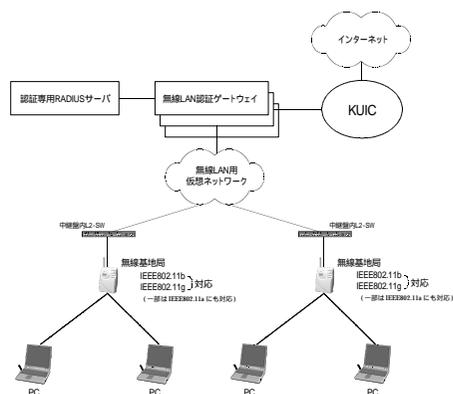
学内無線 LAN システムの利用方法

2004 年 1 月
総合情報基盤センター
杉谷賢一

本システムの特徴

- ユーザ認証
 - セキュリティの確保
- 余裕あるアクセスサーバの配備
 - 高スループット
- 暗号化通信
 - WEP(Wired Equivalent Privacy) による暗号化
 - 必要があれば、更に L2TP や IPsec が利用可
- OS を選ばない
- 最高 54Mbps の帯域を利用可
 - IEEE802.11b (11Mbps) 及び IEEE802.11g (54Mbps)
 - 本年度設置分は、IEEE802.11a (54Mbps) も可

システムの全体構成



使うことができる人

- 在学中のすべての学生
- 在職中の教職員
 - 現在、教職員は、要望がある場合のみ利用可
 - 平成16年度からは、全教職員

現在利用できる場所



現在利用できる場所 (黒髪地区の一部)

- 総合情報基盤センター
- 附属図書中央館
- 大教センター 4F PC 実習室
- 大教センター 1F 掲示板ロビー
- 事務局大会議室、中会議室
- 学生会館 1F ロビー
- 学生会館と附属図書中央館の戸外
- 学生会館南側の戸外

2004年4月より利用できる場所 - 黒髪地区 -



2004年4月より利用できる場所 - 本荘・九品寺地区 -



2004年4月より利用できる場所 - 大江地区 -



利用方法の概略

- (1) 無線 LAN カードのドライバをインストール
 - ・新しいドライバをインストール
 - ・この作業は、1度のみ
- (2) 無線基地への接続
 - ・無線基地局 (ESS-ID) の選択
 - ・暗号化用の鍵 (WEP key) の入力
- (3) 個人認証
 - ・WEB ブラウザで、どこかにアクセス
(電子メールしか使わないときも)
 - ・ID/Password の入力

使用上の注意と今後の予定

【注意】

- ・ ID の貸し借りは厳禁
- ・ 研究用 LAN の端末となるので事務用 LAN のサービスは利用不可
- ・ 多重 login (1 つの ID を同時に利用) は不可
- ・ WEP key や個人のパスワードの取り扱いに注意

【今後の予定】

- ・ 研究室や学部・学科で準備した無線基地局の収容
 - 認証機能の無い無線基地局を運用されていたもの
 - 学生に開放されていた情報コンセント